

スポーツ文化施設建設運営特別委員会

日時 令和3年12月17日（金）
午前10時
場所 第四委員会室

○ 議 題

《スポーツ振興課》

- 1 新井田公園テニスコート増設等工事について
- 2 フラットアリーナの利用状況について

《美術館》

- 3 八戸市美術館の開館後の状況について

新井田公園テニスコート増設等工事について

1 工事の概要

新井田公園内の既設のクレイコート6面を人工クレイコートに改修するとともに、コート2面、照明設備及び管理棟を整備するもの。

2 予算額

(単位：千円)

年度	事業費	財源		
		国庫 <small>(社会資本整備総合交付金)</small>	市債	一般財源
令和2年度	200,000	100,000	100,000	0
令和3年度	200,000	100,000	90,000	10,000
令和4年度	0	0	0	0
合計	400,000	200,000	190,000	10,000

※予算は令和2年度から4年度までの継続費

3 工種及び工期

工種	工期
コート基盤工事	令和3年5月13日～令和4年3月25日
電気設備工事	令和3年7月31日～令和4年3月25日
コート改修工事 管理棟建築工事	令和4年度を予定

4 契約額

工種	契約額
コート基盤工事	111,760,000 円 (うち消費税及び地方消費税の額 10,160,000 円)
電気設備工事	96,030,000 円 (うち消費税及び地方消費税の額 8,730,000 円)

5 契約者

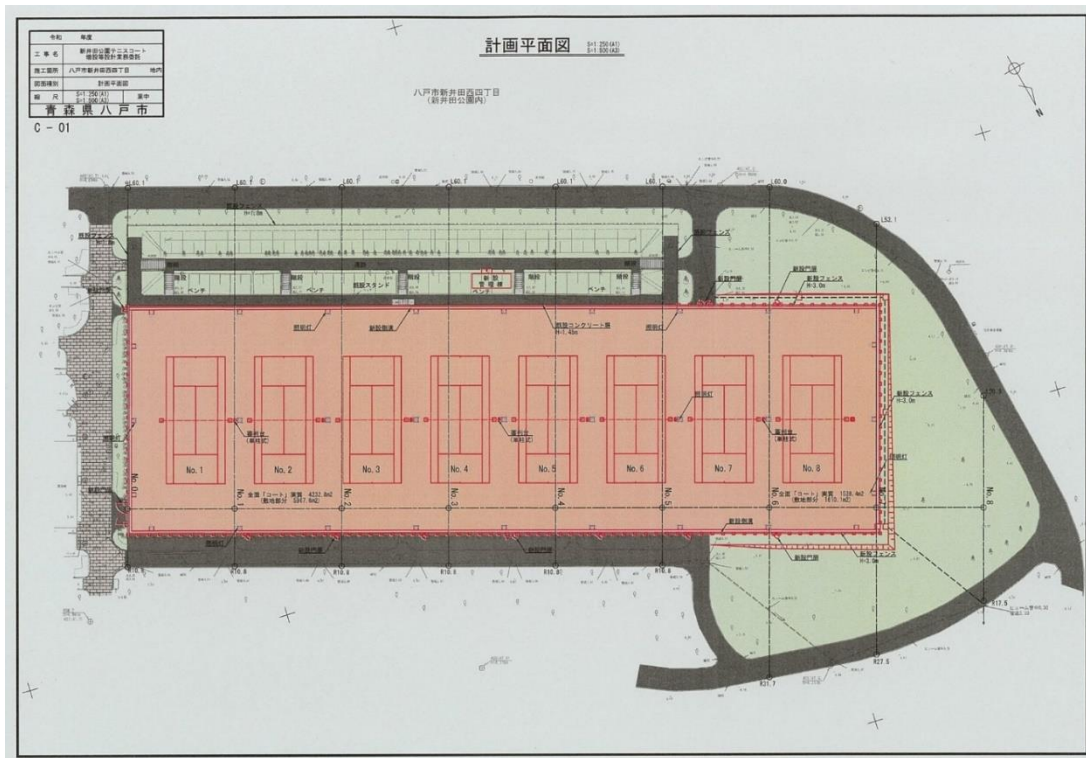
工種	契約者
コート基盤工事	中当建設株式会社 (八戸市大字田向字向平 12 番地 1)
電気設備工事	株式会社京谷電気 (八戸市北白山台二丁目 8 番 23 号)

6 令和3年度スケジュール

内容		月											
		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
コート 基盤工 事	準備工												
	仮設工												
	施設等撤去工												
	排水設備工												
	敷地造成工												
	施設整備工												
	コート舗装工												
電気設 備工事	準備工												
	施設等撤去工												
	幹線設備工												
	照明設備工												
	放送設備工												

7 工事の進捗率（令和3年11月末時点）

- (1) コート基盤工事 42%
- (2) 電気設備工事 13%



フラットアリーナの利用状況について

1 使用時間/年度

令和 2 年 3 月 2 日付けで締結したフラットアリーナの賃借に関する協定書第 3 条第 1 項に基づき、令和 2 年 4 月 1 日から令和 32 年 3 月 31 日まで（30 年間）の各年度使用時間を 2,500 時間としており、原則として、市の使用時間については、月曜日と火曜日の午後 1 時 45 分から翌日午前 0 時 15 分まで、水曜日と木曜日の午前 5 時から午後 3 時 30 分まで、また、土日祝日のうち年間 24 日程度等としているもの。

（令和 3 年度月別条例枠数及び時間）

月	日	条例枠数	時間
4	1、8、12—15、19—22、26—27	64	112 時間
5	10—11、17—20、24—27、31	45	78 時間 45 分
6	1—3、7—10、14—17、21—25、28—30	98	171 時間 30 分
7	1—17、19—21、23—31	154	269 時間 30 分
8	1—12、17—19、23—27、30—31	115	201 時間 15 分
9	1—3、6—22、24、27—30	140	245 時間
10	1—7、11—15、18—29	112	196 時間
11	1—2、4—19、22、24—26、29—30	164	287 時間
12	1—3、6—30	141	246 時間 45 分
1	3—7、11—27、31	182	318 時間 30 分
2	1—4、7—16、21—22、24、28	120	210 時間
3	1—3、7—9、14—17、22—23、28—31	94	164 時間 30 分
合計		1,429	2,500 時間

※条例枠について、1 枠を 1 時間 30 分としているが、使用時間には整氷時間 15 分/枠が含まれる。

2 令和3年度の利用状況

(1) 条例枠における利用状況

月	条例枠数	利用枠数	うち 個人滑走枠	うち 貸切滑走枠	利用率 (%)	
					3年度	2年度
4	64	61	48	13	95.3	—
5	45	45	24	21	100.0	1.7
6	98	98	48	50	100.0	68.6
7	154	148	44	104	96.1	65.6
8	115	96	56	40	83.5	85.0
9	140	3	0	3	2.1	79.8
10	112	108	53	55	96.4	92.4
11	164	135	54	81	82.3	84.4
合計	892	694	327	367	77.8	73.9

※利用率 = 利用枠数 / 条例枠数

(2) うち個人滑走枠における利用状況

月	枠数	利用者数	うち 小学生以下	うち 中学生	うち 高校生	うち 一般	うち 無料滑走
4	48	104	54	10	21	19	0
5	24	57	23	2	11	21	0
6	48	137	49	11	29	48	0
7	44	216	90	18	52	56	0
8	56	397	226	36	33	102	0
9	0	0	0	0	0	0	0
10	53	115	56	9	11	39	0
11	54	359	167	26	47	119	0
合計	327	1,385	665	112	204	404	0

(3)うち貸切滑走枠における利用状況

月	枠数	利用枠数	利用率	利用者数	観覧者数
4	16	13	81.3%	340	64
5	21	21	100.0%	555	120
6	50	50	100.0%	1,134	249
7	110	104	94.5%	4,147	783
8	59	40	67.8%	1,098	365
9	62	3	4.8%	75	0
10	59	55	93.2%	1,617	506
11	110	81	73.6%	4,036	457
合計	487	367	75.4%	13,002	2,544

※利用率＝利用枠数/貸切利用枠数

八戸市美術館の開館後の状況について

1. 開館記念「ギフト、ギフト、」について

(1) 内容

八戸を代表する祭りである八戸三社大祭を出発点に、10組のアーティストと1つのコレクションを迎え、アートを通して「ギフト」の精神を見つめる展覧会を開催。地域のリサーチから着想を得た新作や浮世絵などの多彩な作品を展示するほか、作品や地域への学びを深めるプロジェクトを全館使って展開している。

(2) 会期

令和3年11月3日（水祝）～令和4年2月20日（日）

(3) 観覧者数

9,026人（12月12日現在）

※12月12日（日）に、観覧者数8,888人達成記念セレモニーを開催した。



2. プロジェクトについて

新美術館の開館を記念して、オープニングイベントや開館記念「ギフト、ギフト、」に関連したプロジェクトのほか、アートファーマープロジェクトを実施した。

プロジェクト・イベント名	開催日時	内容
法霊神楽一斉歯打ち	11月3日(水祝)10時～11時	おがみ神社にて伝承されてきた法霊神楽による一斉歯打ちを披露
キッチンカー出店	11月3日(水祝)～7日(日) 10時～16時	美術館前広場に人気のキッチンカーが出店
アートファーマープロジェクト 開館記念「ギフト、ギフト、」 向井山朋子パフォーマンス「gift」	(ワークショップ) 10月2日(土)～11月13日(土) の間で6回 (公演) 11月14日(日)17時～21時	ピアニスト・美術家の向井山朋子氏と市民参加者がピアノ演奏に合わせたパフォーマンス作品を創作し、公演した (ワークショップ参加者数 14人) (公演参加者数 98人)
大学資産を活用したアートの学び 事業 「わたしたちの八戸アート」 ワークショップ	(第1回) 11月20日(土)13時～16時 (第2回) 12月4日(土)13時～16時 ※第3回を12月18日(土)開催	アート思考の第一人者である若宮和男氏(八戸市出身)と、八戸学院大学の玉樹真一郎特任教授を講師に迎え、自分なりにアートを捉え、楽しむ方法について考えるワークショップを開催 (オンライン開催のみ 約30人)

プロジェクト・イベント名	開催日時	内容
開館記念「ギフト、ギフト、」 田附勝トーク&デコトラミーティング	11月23日（火祝）17時～19時	写真家の田附勝氏が撮影した八戸及び近隣地域のデコトラが美術館広場に集合し、田附氏とデコトラドライバーによるトークイベントとデコトラ鑑賞会を開催（トークイベント参加者数 93人）
アートファーマープロジェクト 八戸市美術館建築ツアーガイド	（講座） 10月10日（日）～11月28日（日） の間で4回 （ガイド実践） 12月4日（土）、5日（日）、 11日（土）、12日（日）	八戸市美術館の建物の魅力や特徴をガイドとなる参加者がみんなと一緒に学び、ガイド毎に自分の視点や言葉で語りながら来館者を案内する建築ツアーを実施（講座参加者数 10人） （ツアー参加者数 147人）
青森アートミュージアム5館連携 協議会連携事業 「建築にみるこれからの美術館 ～八戸市美術館の可能性～」 トークイベント	12月12日（日）15時～17時	最近リニューアルオープンした美術館の館長をゲストに迎え、美術館建築を切り口に「これからの美術館」を考え、八戸市美術館の可能性を探るトークイベントを開催（オンライン配信あり） （登壇者：日比野克彦氏、青木淳氏、西澤徹夫氏、浅子佳英氏、五十嵐太郎氏、佐藤慎也館長） （会場参加者数 約100人）



法霊神楽一斉歯打ち



キッチンカー出店



向井山朋子パフォーマンス「gift」



デコトラミーティング



建築ツアーガイド



「建築にみるこれからの美術館」トークイベント

3. 学校の社会科見学・修学旅行の受け入れについて

開館前から学校の社会科見学や修学旅行の受け入れを行っている。美術館スタッフが館内を案内して回るだけではなく、展示室の作品の前で座って模写するなどの新しい取組も行っている。

項目	受入校数	生徒数	備考
社会科見学	13校	448人	市内：10校 384人／市外：3校 64人
修学旅行	5校	171人	全て市外

(令和3年12月12日現在)



職場訪問



社会科見学（作品の前で模写）

4. 来館者の声と対応状況について

(1) 展示・企画について

①来館者の声

「地元の人間として八戸の歴史の流れを知りたいと思える素晴らしい機会になった」、「モノ・ヒト・コト・時間がミックスした表現は面白かった」、「見ていて楽しい作品が多い」等の好意的な意見が寄せられた。一方で、「絵画が見られると思って来たのに見られずがっかりした」、「観覧料が高い」等の意見もあった。

②対応状況

美術館のコンセプトや今回の企画の主旨をご理解いただけるよう情報発信に努めるとともに、次の展覧会では美術館のコレクションを活用した展覧会を予定しており絵画作品を多数展示することや、八戸市美術館では展覧会毎に観覧料は異なり、コレクション展は今より安い料金を想定していることを説明し、ご理解いただくよう努めている。

(2) 施設・サービスについて

①来館者の声

「スタッフが積極的に話しかけてくれるのが良い」、「建物が立派で素晴らしい」、「広くて車いすでも移動しやすい、いい施設になった」等の意見があった。一方で、美術館専用駐車場がないことや、展覧会の順路や館内の案内表示がわかりにくい等の声も寄せられている。

②対応状況

駐車場については、近隣の民間駐車場をご利用いただくように説明し、ご理解をいただけるよう努めている。また、館内の案内表示は、利用者の声を聞いて表示を変えたり配置を変えているほか、スタッフが積極的に声掛けして案内するようにしている。